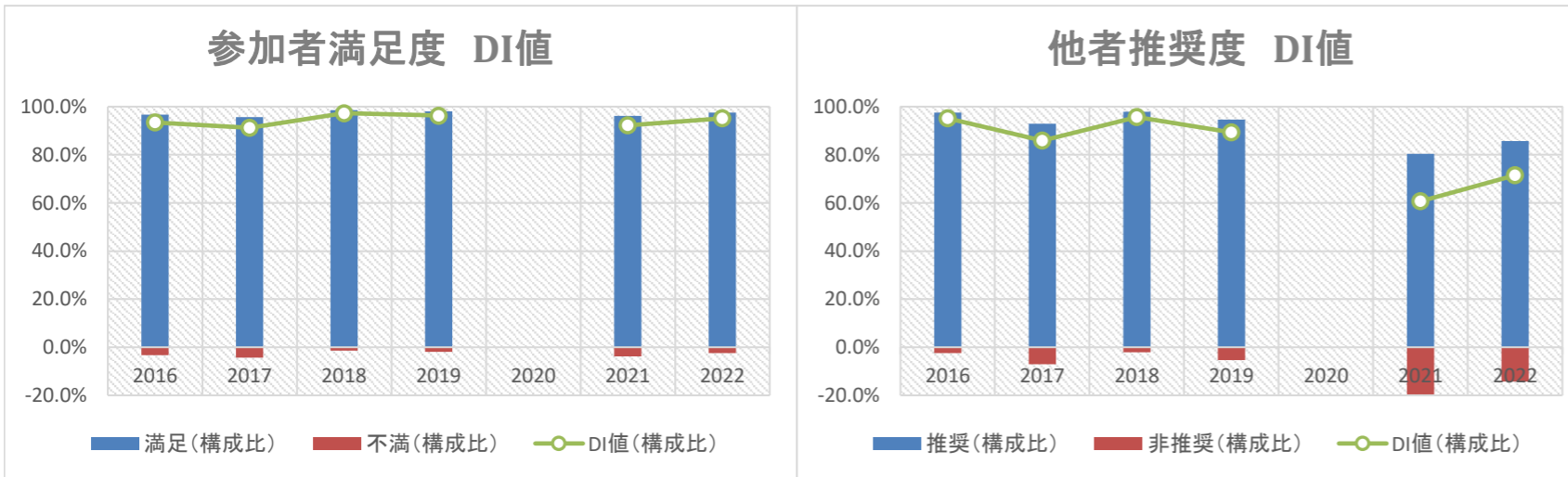


インターンシップ事業

<事業概要>

就職活動としてのインターンシップではなく、大学における学びの一環として位置づけ、実体験と教育研究の融合による「学習意欲の喚起」、「高い職業意識の育成」、「自主性・独創性のある人材育成」を目的とした教育プログラム(コーオペ教育)として、1998年度より全国に先駆けて実施しています。

実務経験型(10日以上の実習)の「ビジネス・パブリックコース」と、課題解決型(約5か月間の実習)の「長期プロジェクトコース」の2つのコースを展開しています。各大学の教員がコーディネーターとして関わっています。



<参加者の声>

- リクナビ等を経由したインターンシップとは違い、事前・事後学習の時間が設けられており、教員の方達のサポートも手厚かったから。
- インターンシップを経験したかったこともあったが、想像以上に多様な業務を体験でき、進路選択が有利になったと感じる。
- 半年間の間に、他の誰にもできない経験をさせてもらえたと思うことができ、自分自身の成長につながる力を得ることができたから。
- もっと他のプロジェクトとの交流が欲しかった。出費が多い。
- 効率的な講義を重視しすぎて、ひとりひとりに、その効果が薄れてしまっている点(時間的な問題)。
- 学生コーディネーターが私のクラスにいたが、あまりフィードバックをもらえなかったのが残念だった。

<参加者の声を受けて改善を図った点>

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、2022年度も引き続き対面での活動が制限される状況においても実施できるプログラムとするため、オンラインを積極的に活用するプログラムとした。

具体的には、プログラムの出願や面接をWebで行うとともに、ビジネス・パブリックコースについて事前・事後講義はオンライン、長期プロジェクトコースでは対面とオンラインによるハイブリッドにて実施した。また、各コースの実習においても一部オンラインを活用できるよう企業・団体に依頼するなど、コロナ禍に対応した就業体験ができるよう取り組んだ。

【総括】

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、学生の学びの機会としてオンラインを積極的に活用しプログラムを安定的に実施できた。他方で、実施プログラムへの参加者数については235名となり、昨年度から18名の減少、また、受入登録団体数についても、新型コロナウイルス感染症の影響、企業・団体独自のインターンシップの実施や受入体制が不十分などの理由から登録を見送る企業もあり、減少した。

インターンシップの位置づけが社会的に多様化していることに加え、各大学の教育課程における位置づけやプログラムの開設状況は各大学、学部・回生等により異なっている。財団が実施するプログラムはすべての学生を対象としており、教育目標をさらに明確化し、講義・実習内容に反映していくとともに、学生及び受入先に発信する取り組みを推進する。

参加者満足度

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
満足(名)	354	305	219	210	未実施	174	162
不満(名)	12	14	3	4		7	4
満足(構成比)	96.7%	95.6%	98.6%	98.1%		96.1%	97.6%
不満(構成比)	-3.3%	-4.4%	-1.4%	-1.9%		-3.9%	-2.4%
DI値(構成比)	93.4%	91.2%	97.3%	96.3%	92.3%	95.2%	
参加者数(名)	398	346	257	250	253	235	

他者推奨度

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
推奨(名)	321	236	181	178	未実施	139	132
非推奨(名)	8	18	4	10		34	22
推奨(構成比)	97.6%	92.9%	97.8%	94.7%		80.3%	85.7%
非推奨(構成比)	-2.4%	-7.1%	-2.2%	-5.3%		-19.7%	-14.3%
DI値(構成比)	95.1%	85.8%	95.7%	89.4%	60.7%	71.4%	
参加者数(名)	398	346	257	250	253	235	

※DI (Diffusion Index)値とは「良い/悪い」「上昇/下落」といった定性的な指標を数値化して、単一の値に集約する加工統計手法のこと。または、この方法によって得られた指数をいう。DIは、時系列データであれば値の増加(プラス)/減少(マイナス)、サーベイデータ(アンケートなど)であれば回答を良い/悪いなどの属性に分類し、その属性の個数を集計して全系列数に占める割合などから算出する。
<http://www.itmedia.co.jp/im/articles/0707/09/news108.html>